
施工管理技士 施工経験記述

添削実例集

SAT 株式会社

1 級建築施工管理技士

施工経験記述

事例① A 様

【問題 1】

建築工事の施工技術は、社会的・経済的環境等により変化しており、建築物の性能水準の高い、より高度な技術による施工が求められている。その一方、建築業の就業者数の減少も大きな課題となっており、このような中で、施工技術や合理化工法の開発など新たな取り組みが行われている。

あなたが経験した建築工事のうち、品質を確保した上で施工の合理化を行った工事を1つ選び、下記の工事概要を具体的に記入した上で、次の問いに答えなさい。

なお、建築工事とは、建築基準法に定める建築物に係る工事とする。ただし、建築設備工事を除く。

【工事概要】 AB 共通

イ	工事名	A百貨店 内装工事
ロ	工事場所	A県A市A区A町00-0
ハ	工事の内容 <small>新築等の場合：建物用途、構造、階数、延べ面積又は施工数量、主な外部仕上げ、主要室の内部仕上げ 改修等の場合：建物用途、主な改修内容、施工数量又は建物規模</small>	商業施設：RC造、地下1階、2階、 間仕切り壁、 <u>軽量鉄骨</u> 下地、石膏ボード張り、クロス張り680㎡ 床：塩化ビニルタイル張り470㎡ 造作家具：メラミン化粧板張り 建具：11箇所、柱：クロス張り90㎡
ニ	工期（年号又は西暦で年月まで記入）	<u>2018.5月～2018.8月</u>
ホ	あなたの立場	現場代理人 <u>年を入れた方がいい。</u>

2018年5月～2018年8月

問題 1

【評価】

B

- ・ A : 問題ありません
- ・ B : 一部の記述に不備があります
- ・ C : 不合格と判定されかねない不備があります

(添削者記入欄)

【総合評価】

A

- ・ A : 合格水準
- ・ B : 一部具体的な数量など不足部分あり
- ・ C : 内容に不合格と判定されかねない不備あり

【総 評】

全体的によく記述されています。一部誤字がありましたので、訂正の際は気をつけて下さい。経験記述のポイントは何も書いた文章を採点者が読んだときに、書かれていることがイメージできるようにすることです。自信を持って記述して下さい。

【設問 1 A】

工事概要であげた工事で、あなたが担当した工種において実施した、施工の合理化の事例を2つあげ、次の①から④について、それぞれ具体的に記述しなさい。
ただし、2つの事例の「合理化を行った目的と実施した内容」は、それぞれ異なる内容の記述とすること。又、現在一般的に行われている躯体・仕上げ材料のプレカットに関する記述は不可とする。

【評価】 A	①工種又は部位等	現場作業の軽減により工期が短縮出来た。
	②合理化を行った目的と実施した内容	内装工事 工期の短縮を図る為に、木工造作を工場で作成
	③実施した内容が合理化に結び付く理由	現場造作の木工造作を工場で作成することで、現場では簡単な組み立てだけで出来るから。
	④実施した内容が品質を確保できる理由	作業環境の良い工場で作成することで、習熟効果と細部の仕上げ精度が高まる為。
【評価】 A	①工種又は部位等	写真管理方法の変更で作業時間を短縮。
	②合理化を行った目的と実施した内容	内装工事 作業時間短縮の為に、タブレットで写真撮影を会社で写真一括管理を行うと現場で写真整理がなくなり作業時間を大幅に削減出来た。
	③実施した内容が合理化に結び付く理由	現場と会社が写真を即時共有し確認すると、ミスや見落としもなくなり、完成度が高まる為。
	④実施した内容が品質を確保できる理由	

【設問 2 A】

工事概要であげた工事にかかわらず、あなたの今日までの工事経験に照らして、施工の合理化の方法であって、建築資材廃棄物の縮減に効果があると考えられる施工方法と、それが効果的であると考えられる理由を具体的に記述しなさい。
ただし、現在一般的に行われている躯体・仕上げ材料のプレカットに関する記述は除くものとする。又、上記【設問 1】の②「実施した内容」及び③「合理化に結び付く理由」と同じ内容の記述は不可とする。

【評価】 A	施工方法	軽量鉄骨下地に石膏ボード張りから、金属パネションに変更。
	効果的であると考えられる理由	間仕切り壁の一部を、金属パネションに変更することで、現場加工によるボード破片や、軽量鉄骨切断片等の廃棄物が、ほとんど発生しない為、廃棄物の縮減になる。

- 経験記述は、参考書の模範解答の丸写しと判断されたいように自分の言葉で表現すると良いです。
- 試験前の1ヶ月前になったら経験記述を書く練習をして下さい。書いた文章を見直し、自分の文章に仕上げておくことが合格の秘訣です。頑張ってください。

私は毎日練習をして合格することができました。

【設問 1 B】

工事概要であげた工事において、あなたが実施した建築副産物対策に係る3つの事例をあげ、それぞれの事例について、次の①から④を具体的に記述しなさい。
ただし、3つの事例の③及び④はそれぞれ異なる内容の記述とする。
なお、ここでいう①建築副産物対策は、発生抑制、再使用又は再生利用とし、重複して選択してもよい。

【評価】 B	①建築副産物対策	分別収集により、端材を廃棄せず再生した。
	②工種名等	再生利用 内装工事 軽量
	③対策として実施したことと実施に当たっての留意事項	軽量鉄骨材の端材は、同材として再生する為に、メーカーに引き取らせて、分別収集は長尺別に積底した。
	④実施したことによって得られた副次的効果	端材は分別されていたので、産業廃棄物とならず、軽量鉄骨として再生され、処理費も大幅に低減した。
【評価】 A	①建築副産物対策	梱包用の素材を変更して、ゴミが削減出来た。
	②工種名等	発生抑制 内装工事
	③対策として実施したことと実施に当たっての留意事項	資材搬入時の包装を使い捨てのビニールや紙製から、繰り返し使える布に変更した。保管は大き別にした。
	④実施したことによって得られた副次的効果	使い捨ての梱包材の不使用を徹底することで、ゴミを軽減する事が出来た。更に、処理する手間も省けた。
【評価】 A	①建築副産物対策	仕上げ方法の変更だけで、旧建具を再生使用出来た。
	②工種名等	再使用 内装工事
	③対策として実施したことと実施に当たっての留意事項	撤去後の建具にシタニアを張り、塗装して再び建具として使用した。一部試験方をし、石壁確認した。
	④実施したことによって得られた副次的効果	再使用する事で、廃棄処分の量が大幅に減るとともに、新たな製作コストも抑えることが出来た。

【設問 2 B】

工事概要であげた工事にかかわらず、あなたの今日までの工事経験に照らして、【設問 1】で記述した内容以外の建築副産物対策として、建築廃棄物の適正な処理の事例を2つあげ、対策として実施したこと、それらを適切に実施するための留意事項を具体的に記述しなさい。
ただし、2つの事例は異なる内容の記述とする。

【評価】 A	①適正な処理の事例	内装材の副産物類毎による、分別回収と産業廃棄物処理
	対策として実施したこと	現場内に建設副産物毎に分別回収ボックスを設置し、確実な分別を行い、リサイクル施設に搬入した。
【評価】 A	②適正な処理の事例	撤去工事後の消耗品等の適正処分
	対策として実施したこと	分別された廃棄物は、許可を持つ処理業者に委託して処理させ、 manifests 伝票 E 票により確認をした。
【評価】 A	③適正な処理の事例	撤去工事後の消耗品等の適正処分
	対策として実施したこと	ウェス、手袋、ハケ類等の消耗品は、焼却し、管理型最終処分場に埋め立てた。
【評価】 A	④適正な処理の事例	収集箱前に投入材料を明記し、表記外の端材等は、混合廃棄物箱を設けて投入させた。
	留意事項	

誰に? (作業者)

2級土木施工管理技士

施工経験記述

事例① A様

【問題1】

あなたが経験した土木工事の現場において、工夫した安全管理又は工夫した品質管理のうちから1つ選び、次の〔設問1〕、〔設問2〕に答えなさい。

<注意>あなたが経験した工事でないことが判明した場合は失格となります。

〔設問1〕

あなたが経験した土木工事に関し、次の事項について解答欄に明確に記述しなさい。

<注意>「経験した土木工事」は、あなたが工事請負者の技術者の場合は、あなたの所属会社が受注した工事内容について記述してください。従って、あなたの所属会社が二次下請業者の場合は、発注者名は一次下請業者名となります。

なお、あなたの所属が発注機関の場合の発注者名は、所属機関名となります。

(1) 工事名

工事名	一般県道 A線	災害復旧工事
-----	---------	--------

(2) 工事の内容

①	発注者名	A県A建設事務所
②	工事場所	A県A市A地区内第0工区
③	工期	平成31年4月1日～令和1年5月31日
④	主な工種	土工、コンクリート張工、防護柵工
⑤	施工量	土工 $V=7m^3$ 、コンクリート張工 $A=29m^2$
		防護柵工 $L=70m$

(3) 工事現場における施工管理上のあなたの立場

立場	工事主任
----	------

設問1

【評価】

A

- ・A : 問題ありません
- ・B : 一部の記述に不備があります
- ・C : 不合格と判定されかねない不備があります

【設問 2】

【設問 1】の工事で実施した「現場で工夫した安全管理」又は「現場で工夫した工程管理」のいずれかを選び、次の事項について解答欄に具体的に記述しなさい。
ただし、安全管理については、交通誘導員の配置のみに関する記述は除く。

- 特に留意した技術的課題
- 技術的課題を解決するために検討した項目と検討理由及び検討内容
- 上記検討の結果、現場で実施した対応処置とその評価

(1) 特に留意した技術的課題

(1) 【評価】 A	<p>本工事は、災害により崩落した法面を掘削し、コンクリート張工により、法面保護を行うものである。</p> <p>現場は幅員4mの狭い幹線道路であり、中型掘削機及び中型ダンプで施工を始めたが、発注者より、祝日の3日間は休工の要望があり、工期短縮が課題となった。</p>
-------------------------	--

(2) 技術的課題を解決するために検討した項目と検討理由及び検討内容

(2) 【評価】 B+	<p>検討した項目</p> <p>中型掘削機、中型ダンプ作業員を増やし、掘削に2日、コンクリート打設に1日の短縮を検討。</p> <p>検討理由(検討内容)</p> <p>中型掘削機を1台から2台へ、中型ダンプを2台から6台に増やし両方向から掘削、掘削土搬出をし、コンクリート打設には作業員を4人から6人に増員を検討。</p>
--------------------------	---

何に基づいて、この判断に至ったのかを詳しく完璧

例えは「工期短縮(最初)から3日休工した場合の工期に相違する考えは、更なる工事費の削減や、安全確保が多くの必要」

- 【評価】
- ・A：問題ありません
 - ・B：一部の記述に不備があります
 - ・C：不合格と判定されかねない不備があります

(3) 上記検討の結果、現場で実施した対応処置とその評価

(3) 【評価】 B+	<p>対応処置</p> <p>中型掘削機2台、中型ダンプ6台で、掘削、掘削土搬出をし、コンクリート打設に作業員6人、作業時間を1時間延長した。</p> <p>その評価</p> <p>工事区間に両方向から掘削搬出することで掘削工程を2日、コンクリート打設に作業員6人、作業時間を1時間延長することで、1日、合計3日間の工期短縮ができた。</p>
--------------------------	---

両方向のこと?

(添削者記入欄)

- 【総合評価】 **A-**
- ・A：合格水準
 - ・B：一部具体的な数量など不足部分あり
 - ・C：内容に不合格と判定されかねない不備あり

よく書けています。
誤字は不備な減点とはならないです